

## ICTATLL JAPAN Journal 執筆要領

### 1. 論文の種類

投稿論文は研究論文、研究ノート及び実践報告のいずれかとする。

### 2. 使用言語

使用言語は日本語または英語とする。

### 3. 論文提出方法

投稿論文の提出は電子的に行い、完全原稿を WORD ファイルにて、下記に示す ICTATLL JAPAN 紀要編集委員会のアドレス (ryoma@fukuyama-u.ac.jp) に電子メールで送ること。

なお、論文提出時に、編集委員会から提示されるフォーマットにより、論文の種類、論文題目（和文原稿の場合には和文題目とその英訳、英文原稿の場合には英文題目とその和訳）及び氏名（日本語と英語）所属機関を提出すること。

### 4. 論文提出の締切

提出の締め切りは、当該年度 11 月第 3 週の金曜日までとする。

### 5. 論文の構成

論文の構成は、論文題目、執筆者氏名、所属機関名、英文要約、本文〔1. はじめに、 2. 研究目的及び方法、 3. 結果と考察、 4. 結論〕、注、参考文献等の順番とする。具体的には、以下を参照のこと。

- (1) 論文題目：英文原稿の場合は英文題目のみ、和文原稿の場合には和文題目とその英訳を書くこと。
- (2) 執筆者氏名：英文原稿の場合は、名・姓の順とし、姓は大文字とする。和文原稿の場合は、ローマ字 (Times 12 ポイント) による表記も添えるが、その表記法は英文原稿の場合と同じとする。
- (3) 所属機関名：和文原稿の場合は、その機関名の英訳を添えること (Times 12 ポイントでイタリック体)。
- (4) 要約：要約は英文原稿とも和文原稿とも、英語で書くこととし、長さは 15 行程度までとする。
- (5) 本文：要約のあと一行開けて、本文を書き始めること。和文原稿の場合、句読点、カギカッコ (「」) 等は 1 文字に数える。各セクションの見出し及び小見出しはともに左寄せとする。

### 6. 論文原稿の書式

- (1) 用紙サイズ及び行数と 1 行の文字数用紙サイズは A4 版とし、上下 40 ミリメートル左右 25 ミリメートルの余白をとり、1 ページ 38 行とする。1 行の文字数は 45 文字とする。以上は、本文だけでなく、注と参考文献にも適用される。ただし、図表、グラフ、付録については、行間等を適宜調整してもよい。

## (2) ページ

論文原稿にはページをつけないこと。

## (3) 本文等のフォントとサイズ

本文、注、引用文献に使用するフォントとサイズについては、英文原稿の場合は Times New Roman [以下、Times と略す] で 12 ポイントとし、和文原稿の場合は MS 明朝で 10.5 ポイントとする。ただし、図表、グラフ、付録については、英文も和文も、サイズを 10 ポイントまで下げることができる。なお、紀要のサイズは B5 版である。

## (4) 論文題目等のフォントとサイズ

[和文原稿の場合]

- ・論文題目：MS 明朝 14 ポイント 副題は 12 ポイント
- ・論文題目英訳：Times 14 ポイント 副題は 12 ポイント
- ・執筆者氏名：MS 明朝 10.5 ポイント
- ・執筆者氏名ローマ字：Times 12 ポイント
- ・所属機関名：MS 明朝 10.5 ポイント
- ・email account：Times 12 ポイント
- ・所属機関名英訳：Times 12 ポイントでイタリック体
- ・英文要約見出し (Abstract)：Times 12 ポイント
- ・要約：Times 12 ポイントでイタリック体
- ・本文セクション見出し：MS 明朝 12 ポイント
- ・本文セクション小見出し：MS 明朝 10.5 ポイント

[英文原稿の場合]

- ・論文題目：Times 14 ポイント 副題は 12 ポイント
- ・執筆者氏名：Times 12 ポイント
- ・所属機関名：Times 12 ポイントでイタリック体
- ・email account：Arial 12 ポイント
- ・要約見出し (Abstract)：Times 12 ポイント
- ・要約：Times 12 ポイントでイタリック体
- ・本文セクション見出し・小見出し：Times 12 ポイント

## (5) 図表

表は通し番号を付ける。通し番号と表のタイトルは同じ行に記して、表の上下部には 1 行分スペースを入れる。数字や文字は揃える。サンプルのように罫線（枠線）はなしとする。

表 1 テストの結果 (N=66)

Lessons	英語ノート1 (G5)	英語ノート2 (G6)	Units	New Horizon 1 (JH1)
1	Hello.	That's right.	1	Welcome, Ms. Green.
2	I'm happy.	Aa Bb Cc	2	At School.
3	How many?	When is your birthday?	3	Ms. Green's First Class.

図は通し番号を付ける。通し番号と図のタイトルは同じ行に記して、図の上部に 1 行分スペースを入れる。

図 1 小学校 5 年生「英語ノート」



(6) 原稿の総ページ数

原稿の総ページ数は、本文、注、参考文献、図、表等を含めて 15 ページを限度とする。図や表等は原稿内にレイアウトすること。

(7) 注と参考文献の書式及びフォント

注と参考文献の書式は Publication Manual of the American Psychological Association (American Psychological Association) の最新版（第 7 版）に準拠すること。

フォントとサイズに関しては、英文は Times 10.5 ポイント、和文文献 MS 明朝 10.5 ポイント  
参考文献については、下記の例を参考のこと。

〔英文原稿〕

(和文図書は書名をローマ字で記載し、英訳をつける。)

Aizawa, K. & Mochizuki, M. (2010). *Eigo goishidouno jissen idea shu: Katsudourei kara tesuto sakusei made* [Practical handbook for English vocabulary teaching]. Taishukan Shoten.

Canale, M., & Swain, M. (1980). Theoretical bases of communicative approaches to second language teaching and testing. *Applied Linguistics*, 1, 1–47.

Ellis, R. (2008). *The study of second language acquisition. Second edition*. Oxford University Press.

Kuno, S. (1978). *Danwa no bunpo* [Discourse grammar]. Taishukan-shoten.

VanPatten, B. (2004). Input-processing in second language acquisition. In B. VanPatten (Ed.), *Processing instruction: Theory, research, and commentary* (pp. 5–31). Lawrence Erlbaum.

〔和文原稿〕

(和洋図書が混在する場合、和書を先に書く。)

小林春美・佐々木正人（編）（1998）.『子供たちの言語獲得』大修館書店

高田智子(2005).「小学校英語教育経験者の中学入学以降の文法獲得」『関東甲信越英語教育学会紀要』第 19 号, 35–46.

## 7. 論文投稿における注意

- (1) 本紀要への論文投稿の資格を持つ者は、ICTATLL JAPAN の会員として登録された学会員に限る。共著の場合の第二著者以降についても、同様の条件とする。
- (2) 投稿論文は学会で発表し未公刊のもであり、他所で掲載審査中でないものに限る。
- (3) 投稿論文は所定の執筆要領に従って作成する。執筆要領に違反するものは審査の対象外とすることがある。
- (4) 英文原稿は英語母語話者または同等の英語力を有する者によるチェックを必ず受けること。
- (5) 提出締め切りに間に合わなかったものは受理しない。
- (6) 投稿論文は紀要編集委員会が選出した査読委員により審査され、その結果に基づいて紀要編集委員会によって掲載の可否が決定される。なお、掲載が認められた論文について、審査の結果に基づいて修正を求める場合がある。
- (7) 審査結果は、当該年度 1 月末までに投稿者（代表者）に通知される。なお、審査結果に関する問い合わせは受け付けない。

## 8. 研究論文以外の投稿原稿の扱い

研究論文以外の投稿原稿、つまり研究ノートや実践報告の扱いについて以下のとおりとする。

- (1) 投稿論文の審査基準には準じない。
- (2) 研究ノート及び実践報告執筆の際の原稿書式や基本的な体裁は研究論文に準じる。
- (3) 審査の結果、研究論文に該当しない場合、研究ノートとしての掲載が可能である。